

5年以内の離職率27・9%

日本歯科技工所協会が会員歯科技工所に対して行った2023年度調査で、5年間の入社総数は410人(離職率27・9%)だった。離職率は4年前の

前回調査時27・8%とほぼ同じだったが、入社総数と離職者数は18%増えていた。

インターネットなどで5年間の離職率は70%を超えていたとの調査結果が報告されており、歯技協は同様の計算式を用いて、会員歯科技工所の実態を調査。19年度から23年度の5年間に

7月31日まで、メール(調査票)やウェブアンケートで行い、82社中64社(回収率78%)から回答を得た。

なお、離職者は「会社を退職したもの」と定義している。歯技協は、歯科技工士全體の離職率70%と比べると

外の歯科技工所での離職率を把握することで、今後求められる歯科技工体制や、歯科技工士不足の歯止め対策につながる」とコメントした。



9月24日付

日本歯科新聞社1面

「当会離職率調査報告」掲載

半分以下で、定着率72・1%との見方もできると分析。

調査担当者で協会総務理事の北井正勝氏は、「実態を把握してこそ、次の対策や検証が可能となる。今後、

歯科医院などに勤務してい

る歯科技工士や協会会員以

外の歯科技工所での離職率

を把握することで、今後求められる歯科技工体制や、歯科技工士不足の歯止め対策につながる」とコメントした。